

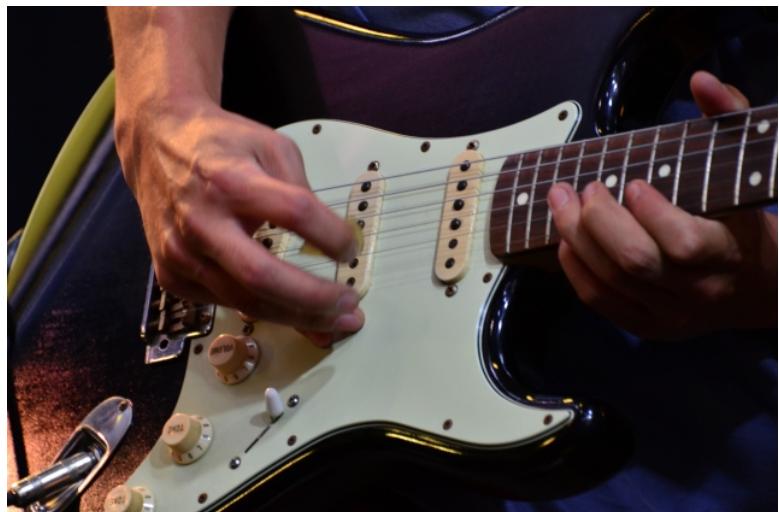
Vol.131



2019年5月1日発行

最近、患者さんのご家族が癌や痛みの強い疾患のために、医師より「オピオイド系医療用麻薬」を処方されたという話を時々耳にします。日本では一般的な薬ではありませんが、アメリカの有名なアーティストの死因などで話題になつて、「オピオイド」について、改めて調べてみました。医療用麻薬とは、麻薬および向精神薬取締法により、医療

オピオイド依存症…過剰摂取問題



用に使用が許可されている
麻薬です。中度から重度の
痛みに対する鎮痛剤として
処方され、怪我などに起因
する慢性の痛み、手術など
の痛み、末期癌の痛みなど
の薬として使用されています。
当然副作用もあり、多量
に摂取すると常習性が生じ、
一度に過剰摂取すると死に
至ります。常習性の原因と
しては、脳内の喜びをコン
トロールする場所が刺激さ

れ、幸福感を感じるためです。日本ではまだあまり知られていませんが、米国では過去にひどい麻薬問題が起きたときの約13倍もの死者を出し、大きな社会問題になつていて、トランプ政権は二〇一七年十一月二十六日にオピオイド危機に対する非常事態宣言を発しました。しかし中国などからの違法な密輸もあり、死者の増加は衰えるどころか加速しています。日本も対岸の火事と見過ごすわけにはいきません。オリエンピックに向け海外の旅行者が多くなります。密輸などで乱用が起らぬいか懸念しています。

関修一(せきしゅういち)

健育会 東銀座整骨院・整体院

鉢巻 防止

代替医療の総合病院として確立を目指す。タイルのfaces

to face the terrible truth.

合つて患者さんの症状と闘う」――

※毎月一日の発行です